

ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER 2006→2007

NO.5



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

2006年
11月1日発行

11月は、ロータリー財団月間です。

ガバナーメッセージ	2	地区大会のご案内	18
ロータリー財団月間によせて	4	2007-2008年度 地区スタッフ決定	19
ガバナー公式訪問報告	12	ガバナーからの報告・お知らせ	21
@2760 だより	16	会員数及び出席報告	23
東尾張分区IM報告	17		

11月



「錦 秋」

国際ロータリー
第2760地区
ガバナー 斎藤 直美

〒470-0373
豊田市四郷町東畑125 さなげメディカルビル内
TEL.0565-44-2760 FAX.0565-44-2761
E-mail governor06-07@rotary2760.org
Governor's HP <http://2760.jp>

Governor Message

ガバナー メッセージ

クラブ会長各位
クラブ幹事各位

落葉の中でも最後まで残っているのがイチョウだとか。鮮やかな黄色を夕日に映えさせながら霜の訪れとともに落葉して冬を迎えるようです。

しかし、この四季の姿も地球の温暖化で紅葉は美しく染まることなく黄葉や茶葉となってしまい興ざめです。

第2500地区大会は紋別港 RC 主管で10月7・8日に紋別市で開催されました。旭川空港から峠越を往復しましたがまさに黄色中心の落葉の始まりでした。

第一日目のパネルディスカッションはシェルドンの“*He profits most who serves best*”をテーマに進められました。パネラーは第2780地区パストガバナーのお二人神崎正陳氏、松宮剛氏と小生の三人です。お二人は知る人ぞ知るロータリーの論客であり、ロータリー哲学には造詣の深い方です。小生の役割は“ボケ”をやることだと心得て壇に上がりました。しかしこのテーマは小生には荷が重過ぎました。シェルドンのこの第2標語は職業奉仕の真髄と云われ、大切に扱われて100年になろうとしています。

「ロータリーは職業奉仕！」と語り継がれており、新入会員のオリエンテーションでも“まず職業奉仕”と先輩より語られます。ロータリーに入会させていただいてから27年、私もそれをオウム返しで信じてきました。しかし、今「ロータリーは職業奉仕って本当ですか？」と考え込むようになりました。

ロータリークラブは今、40代の青壮年経営者がどんどん入会してきます。彼等は1970年代中頃には中・高校生として、父親が油にまみれ、夜遅くまで機械と取り組み「物づくり」に励んだ姿を見つめてきました。そして町工場から〇〇株式会社へと成長し、メイドインジャパンの商品を作り出す原動力の一翼を担ってきました。

ご存知の通りメイドインジャパンの製品は故障なく長持ちするとして世界中にあふれ、良質商品の信用を勝ち取ってきました。電気製品・精密機械製品の市場を独占したメイドインジャパン。しかし、これらを背景にジャパンバッシングが始まりました。そしてその結果として物づくり日本がその技術力を衰退させていくことを恐れ、心配した二人のヨーロッパ人によってコー円卓会議がスイスで開催されました。やがてその会議にはアメリカの参加もあり、グローバル世界での「共生」



ガバナー 斎藤直美

が提案され、物づくりには環境にやさしいグリーン調達が必要であることが確認されたのです。

即ち、物づくりの倫理基準は地球規模に拡大し、自然(地球)と「共生」できる基準が問われるようになってきたのです。

こうなってきますと1910年～1920年代に成立した物づくりの倫理基準は「当たり前の基準」であり、“Who serves best”は「自然との共生」をも解釈の中に入れなくてはならなくなります。ポール・ハリスの時代に願ったシェルドンの経営販売学の科学は、単に仕入先と販売先との公明正大で誠実な取引こそ企業の永続的な発展を保障する職業奉仕哲学だったはずですが。しかし、今やこの当たり前となった基準は企業(職業)活動を永続させる前提条件なのです。ロータリークラブに入会してくる若手経営者にとっては当たり前の事であり、CSR・TRC・各種専門職協会の倫理宣言などの単語で語られているのです。この前提条件を身につけている若手経営者、若手専門家にロータリーは何を語り、何を中心テーマとして伝えればいいのでしょうか。

“ロータリーはクラブ奉仕だよ” “例会に毎週1回出席して異業種交流することだよ”と語ればいいのでしょうか？

そうです！今伝えるべき事は「100年前に戻りましょう」だと私は思います。自己を高めること、そして内なるエネルギーを高め、善行を求めるという精神活動にこそロータリーは回帰すべきでしょう。高められた内なる思いはインドへ、エチオピアへ1本の井戸を掘る行動へ導いてくれるはずですが。

「ロータリーは職業奉仕だよ！」と、さも正論であるかのように言って例会の途中退席する奇妙な行動はロータリー運動に背をむける反信行為でしょう。顔を赤らめてうつむいて黙って途中退席するのがロータリアンとしての本当の姿でしょうか？

例会に出席し、培われた人間信頼友情交換は「お天とう様に顔向けできない」様な事をしない人間へと成長させてくれるのです。職場へ帰ったら「お天とう様が見ている」と仕事に励むのであります。おのずといわゆる職業奉仕を行っているのです。ロータリーは例会が全ての出発点ではないのでしょうか？ロータリーはクラブ奉仕ではないかと思いつめる昨今です。

秋深し、隣は何をする人ぞ。物思う秋であります。ボケ防止の問題提起になれば望外の喜びであります。

▶先月(10月号)のガバナーメッセージ内において、ポートランド大会をポーランド大会と誤り、訂正・お詫びさせていただきます。

ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団委員会

委員長 深谷 友尋



本年度の当地区ロータリー財団は斎藤ガバナー地区方針・クラブ奉仕に徹しよう・ロータリー財団、米山記念奨学会への協力・ロータリーを学ぼうの方針に従い、ロータリー財団事業計画目標を地区内ロータリークラブの寄付目標達成と定め、以下の活動を推進します。

- 1 Every Rotarian Every Year「毎年あなたも100ドルを」のモットーを周知徹底する。
- 2 あなたの100ドルは社会奉仕・国際奉仕に役立っていることをPRする。
- 3 各クラブの財団委員長の目標達成に協力する。
- 4 地区内大口寄付者へのお願いをする。

以上のように活動目標を定め、地区財団委員会には年次寄付委員会(Annual Giving)・地区補助金委員会(District Simplified Grants)・恒久基金委員会(Permanent Fund)・財団奨学委員会(Ambassadorial Scholarships)・財団学友委員会(Foundation Alumni)・研究グループ交換委員会(Group Study Exchange)・ポリオ・プラス委員会(Polio Plus)の7委員会を有する地区内最大の委員会です。

ロータリー財団は、アーチ・クランフの基金提唱以来87年の年月を経過し、ロータリーの世界だけでなく、広く国際社会に深い根を下ろしている。

ロータリー財団の使命は、地域レベル・全国レベル・国際レベルの人道的・教育的な文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

ロータリー財団はロータリーの目的を達成するために、貧困緩和、環境保全、食料確保、保健衛生と教育促進、調停と紛争解決、世界平和と理解のためのプログラムを用意しています。皆様の尊い寄付そして参加がなければ、これらのプログラムは推進されません。国際親善奨学生は1947年に開始し、110カ国から37000人の奨学生が親善大使となり活動する世界で最大規模の国際奨学金プログラムです。また当地区でも定着しつつある、地区補助金(DSG)は、地区財団活動資金(District Designated Fund)の一部を通じて、地域社会に有益な短期の人道的プロジェクトを支援します。また、今年度の新たな取り組みにマッチング・グラント(Matching Grant)があります。ある国のロータリー・クラブが人道的プロジェクトを実施するにあたり、資金や専門知識が不足している場合や他の国のために尽くしたいと思っているロータリー・クラブが2カ国以上にある場合、ロータリー・クラブが協力し合い、国際奉仕プロジェクトを組むことが出来ます。その活動に補助金を申請しますとロータリー財団のマッチング・グラントとなり、資金が付与されます。奨学金と並ぶロータリー財団最大のプログラムです。取り組み等についてのお問い合わせは地区ロータリー財団委員会までご連絡ください。ポリオ・プラスでは20億人以上の子供たちが経口ポリオ・ワクチンの投与を受けています。ロータリーはポリオ撲滅のために米貨6億ドル近くを寄付することになります。このようにロータリー財団プロジェクトはロータリアン及びロータリーの質を高めることにも貢献できるプログラムです。更なるロータリアンのご参加を切に願います。

2006. 11

地区財団奨学委員会

委員長 川辺 清次



「国際親善奨学金について」

国際親善奨学金はロータリー財団の最も古くよく知られているプログラムで、その素晴らしい伝統は1947年にまで遡ります。世界中のロータリアンからの寄付によって、このプログラムは成功してきました。これらの惜しみない寄付は今日の奨学生への投資といえます。これは有望な学生が明日の指導者となり、各自の地域社会のみならず、世界に大いに貢献するであろう。というロータリーの信念の表れなのです。

ロータリー財団の管理委員会は下記に挙げられているように、国際親善奨学金プログラムの7つの目的を確立しました。これらの目的は国際親善奨学金プログラムがいかにして財団の使命を効果的に推し進めるかについて国際親善奨学生とそのスポンサーおよび、ホスト・ロータリアンにより幅広い理解を与えるものとして是認されました。

◆国際親善奨学金の目的

国際親善奨学金プログラムは、国際理解と世界平和を促進するというロータリー財団の使命を次のような方法で支えています。

- ・国際親善使節を外国に留学させることにより、文化の相違に対する認識と敬意を深める。
- ・ロータリーの奉仕プロジェクトへ積極的に参加することにより、ロータリーの理想である「超我的奉仕」を奨学生に浸透させる。
- ・母国や地元社会の人々の生活の質を向上させるために、奨学生が自らの個人生活、職業生活において貢献するよう奨励する。
- ・世界各地の人道的ニーズに対応できる指導者を育成する。
- ・奨学生を世界各地に偏りなく派遣し、あらゆる地域に影響を与えるようにする。
- ・世界中のロータリアンを奨励して、低所得国からの奨学生に教育の機会を増やす。
- ・ロータリーと奨学生の間には生涯にわたる絆を培う。

国際親善プログラムは、これらの目的を推進することによってのみ成功しますが、それにはプログラムの4つの基本要素に対して注意を払われなければなりません。国際親善奨学金を支援するロータリアンは、各奨学生に対する自分の投資が、慎重な選考過程・徹底的なオリエンテーション・熱心な受入れ態勢および学友への推進を通じて育まなければならないことを認識しています。

「ロータリアンの参加がなければ奨学金プログラムはただ単に学生に資金援助を与えるだけのものになってしまいます。」あなたの助言と指導があって初めて当プログラムは、教養・思いやり・理解力を備え、世界中の地域社会の人道的ニーズを解決することのできるようなロータリー財団国際親善奨学生を生み出すことができるのです。

◆今年の募集について

【募集の種類】

募集予定の国際親善奨学生（2008/09年度の募集要項が未発表のため2007/08年度の場合）

- ・1学年国際親善奨学金（4名）
上限26,000USドル（通常9ヶ月）
- ・マルチイヤー2年国際親善奨学金（6名）
2年につき26,000USドル（学位取得に向けての留学）

・文化研修 3ヶ月国際親善奨学金（1名）
上限12,000USドル

【2008-09年度奨学生募集から派遣までのスケジュール】

- 募集要項ポスター配布、申請書配布 2007年1月中旬
- 各クラブでの申請書受付期間 2007年3月1日から31日
- 各クラブでの選考期間（1クラブ2名まで）
2007年4月上旬
- 地区事務所申請書受付締切日 2007年4月13日（金）
- 地区選考委員会 2007年4月20日（金）
- 地区選考試験日 2007年5月26日（土）
- 合否通知発送 2007年6月上旬
- 新奨学生のためのガイダンス 2007年7月中～下旬
- 教育機関の指定・入学手続開始 2007年11月上旬～
- 新奨学生のためのオリエンテーション 2008年2月下旬
- 新奨学生壮行会兼学友会総会 2008年5月上旬
- 2008-2009年度中に留学先へ出発 2008年7月1日以降

【追記】

各RCでの申請書受付期間は2007年3月1日～3月31日で、1RCにつき2名まで推薦可能です。4月上旬に選考を行い、完璧な申請書を4月13日までに地区事務所にご送付ください。同月20日に選考委員会が開催されますので、必着をお願いします。

◆最後に奨学生からのメッセージです

「外国で勉強する資金を提供してくれる奨学金は他にも数多くありますが、ロータリー奨学金はとりわけユニークです。というのも、ロータリー奨学金はただ単に教育ばかりではなく、外国文化—そこに住む人々—へ溶け込む機会を与えてくれるからです。…いろいろな方々がどんなに私を温かく迎えてくれたかは、私にとって今でも信じられないほどです。ロータリーだからこそこのような経験が可能だったのです。」

アネット・シューマッカーさん
(ドイツから米国カリフォルニア州へ留学)

「自分のクラブのロータリアンをよりよく知り、そして他のクラブで話をすることによって、私はもっと多角的にこの組織に属する人々の目標や献身について理解できるようになりました。…それだけではなく、ロータリアン自身が奉仕活動に従事する姿を見ることもできました。」

サラ・ドライデンさん
(カナダから南アフリカへ留学)

「ロータリー奨学金について素晴らしいと思うことは、ただお金を支給するだけではなく、奨学生に顧問ロータリアンを指定し、新しい環境に溶け込む機会を与えてくれるということです。私は、顧問ロータリアンやその家族と一緒に多くの時間を過ごし、カナダの人達の生活に実際に触れることができました。振り返ってみると、皆私を地域社会や家族の一員として受入れてくれたのだと感じます。知らない国で一人ぼっちだとは全く感じませんでした。」

ヒラマ・レミさん
(日本からカナダのケベックへ留学)

ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団学友委員会

委員長 柴田 憲一



11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団というと、寄付金の事が最初に浮かぶと思われそうですが、財団委員会の中には7小委員会があり、寄付を集める委員会、事業を行う委員会があります。私の担当している学友委員会も事業を行っている委員会のひとつです。

学友委員会はロータリアンの皆様と直接係わる事の少ない委員会です。ガバナー月信を通して皆様には是非、財団学友会を知って頂きたいと思います。

■ ロータリー財団学友会について

ロータリー財団学友会は、ロータリー財団奨学生（国際親善奨学生）として、諸外国で学問を終了した学生と研究グループ交換(GSE)を終了したチームメンバー、ロータリー平和奨学生、大学教員の為のロータリー補助金受領者によって成り立っています。

ロータリー財団学友会のメンバーで、日本で著名な方は、元国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、作家で教育家の牧野高吉博士、指揮者の松尾葉子さん、また最近では、宇宙飛行士となる角野直子さんなどがみえます。

財団学友は2005年10月現在、日本に8,397名おります。当2760地区には364名の学友が活躍しています。

■ ロータリー財団学友に期待される事

- 財団学友のそれぞれの分野での専門知識は国際ロータリーおよびロータリー財団の使命への支援の為に大きな力となります。
- 帰国後は1年ないし2年間はホームクラブをはじめ各クラブを訪問し、卓話をしてロータリアンに財団の役目・国際理解を深めてもらう事を期待します。
- 財団学友は、将来ロータリークラブ会員となって、国際ロータリーの活動に参加する事が期待されています。

■ 地区財団学友委員会の仕事

- ロータリー財団プログラムの現在の参加者およびロータリー財団学友の正確かつ最新の情報を維持する為の資料を作成管理する。
- 財団学友委員会はメーリングリストを設置し、新しい国際親善奨学生候補者の登録を行い、先輩学友への質問や回答など、留学までのアドバイスなどを交換できるようにします。
- 財団学友に対して随時、地区のガバナー事務所や各ロータリークラブの要請を受けて、ロータリー財団月間に奨学生の卓話者の派遣、地区大会のプログラム参加などができるように支援しています。

[2006～2007年度 財団学友会行事予定]

- 2006年7月30日(日) 2007～2008年度 財団奨学生の為の「ガイダンス」
- 2007年2月25日(日) 2007～2008年度 財団奨学生の為の「オリエンテーション」
- 2007年5月27日(日) 財団学友会総会および2007～2008年度 財団奨学生壮行会

2006. 11

研究グループ交換(GSE)委員会

委員長 矢形 修己



研究グループ交換(Group Study Exchange)委員会は、ロータリー財団事業の一つとして1965年に発足。皆様の大切な資金を運用する非常に重要な国際交流プログラムです。若い実業人及び専門的職業人に他国の職業と文化について交流と親睦の場をつくり真の国際理解を促進することを目的としています。

今年度、斎藤ガバナー年度では、RI 第6170地区 アメリカ・アーカンソー州から受入、派遣いたします。受入では、委員会も公式には12回、非公式も入れますと年間20回強 開催されます。11月4日にRI 第6170地区から来日、今年度も8分区から4分区での隔年で担当していただき、余裕のあるスケジュールで展開していこうと思います。すでに大半のスケジュールは決まり、職業研修など詳細の調整に入っています。

是非、今回ご協力いただいている関係分区・クラブ様につきましては、委員会の活動にご理解・ご支援・ご参加いただければたいへん有難く存じます。

また、感動とロマンを生む委員会です。地区委員会へのご参加も合わせて賜りますよう心からお願い申し上げます。

派遣では、この地域の文化・歴史・経済などのプレゼンテーション作成、お土産の選定、着付け、英会話などに10回の会議を開催します。

もちろんガバナー・関連委員会・GSE委員会の承認を得て、手作りで作っていきます。

しかし作った甲斐があり、いままでの実績(オーストラリア、カナダなど)では、感動を生む機会が驚くほどたくさんあり、帰国したメンバーは大きなエネルギーを得て帰ってきます。

また、ガバナーが応援に現地訪問する委員会も私どもだけではと感動しています。

以上

2006年8月19日(土)ガバナー事務所分室にて、今年度国際ロータリー第2760地区研究グループ交換(GSE)派遣メンバーの選考試験が行われました。ロータリー財団委員長、GSE派遣リーダー、地区GSE委員、8名が参加書類選考にて7名 面接、英会話などを通して4名の方々が第1・2次試験を通過しました。8月26日(土)斎藤ガバナー、藤井地区幹事、深谷ロータリー財団委員長、GSE委員会にて最終選考の結果、4名の正規メンバー、1名の補欠メンバーが選ばれました。詳細については下記ご参照ください。

今後、12時間強のロータリークラブ、ロータリー財団についてのオリエンテーション、愛知県など地区の紹介プレゼンテーションの作成など6ヶ月間にわたる研修を行い、派遣させていただく予定です。

ご協力各クラブ様には優秀なメンバーをご推薦いただき、厚く御礼申し上げます。おかげさまで素晴らしい方々を決定させていただけたと思います。是非、次回につきましても多数の応募いただけますよう重ねてご協力をお願いを申し上げます。

受入メンバー

名 前	スポンサー RC	年齢	職 業
George Keck ジョージ・ケック	Arkadelphia RC メンバー (チームリーダー)	66	大学教授 (音楽)
Shannon Prince シャノン・プリンス	Arkadelphia RC (チームメンバー)	37	小学校教師
Sarah Pettit サーラ・ペティート	Arkadelphia Sunrise RC (チームメンバー)	30	アーカデルフィア市役所 行政官
Brian Davis ブライアン・デービス	Malvern RC (チームメンバー)	40	理学療法士
Thomas Fernandez トーマス・ファーネンドス	Arkadelphia Sunrise RC (チームメンバー)	30	画家・大学講師

派遣メンバー

名 前	スポンサー RC	年齢	職 業
早川恵子	名古屋名北 RC メンバー (チームリーダー)	49	(株)シービー・ケー 代表取締役
亀島深里	安城 RC (チームメンバー)	36	神谷研税理事務所・所長代理
横田敦史	豊橋 RC (チームメンバー)	28	豊橋市役所 教育事務
池谷悟	名古屋北 RC (チームメンバー)	34	メトロ東海(有) (保険会社) 代表取締役
斎藤彩子	名古屋名北 RC (チームメンバー)	27	陽光建物サービス(株)

ロータリー財団月間によせて

ポリオプラス委員会

委員長 磯部 茂



「ポリオ撲滅へあと一歩」

思いおこしてみてください。私たちが子供の頃、どこの小学校にも、又ご近所にも小児マヒで手足の不自由な子供がいた記憶はありませんか？

当時小児マヒと呼ばれていた伝染病、それがポリオです。日本においてポリオが文献に記載されたのは明治43年、大正時代に入って小さな流行が報告され、大正2年に死因となる疾病として統計がとられるようになりました。その後昭和13年と昭和15年に京阪神地区で大流行がおり、その頃からポリオが流行病の1つとして認識されるようになりました。正確な患者数を記録にとどめているのは昭和24年、この病気が届出伝染病に指定されてからであり、昭和24年患者数3,000人、昭和26年4,233人、その後も年間2,000人以上のマヒ患者が発生し、その2割近くが幼い命を落としていました。一時ポリオ発生は漸減したものの、昭和31年から再び増加の傾向を示し、しかも地域的な集団発生が見られるようになりました。昭和35年東北・北海道地区で5,606人を数える患者発生を期に、政府は「ポリオ緊急対策要綱」を定め予防接種の実施強化とワクチンの確保を開始することに決めました。昭和36年「予防接種法」が改正され、ポリオは0.5歳から3歳児に対し不活化ワクチンであるソークワクチンを用いて行うこととなりました。しかしながらこの厚生省の対策もむなしくポリオは全国に広がる勢いを止めず、ソークワクチンだけでは対処できない事態から、専門家の間でも評価の分かれる生ワクチンの導入に踏み切りました。こうして7月、生ワクチン300万人分がカナダとソ連から輸入され投与された結果、昭和37年289人、昭和38年131人、昭和47年0人。となり、日本におけるポリオは根絶へと向かって行ったのです。

さて、現在世界におけるポリオの状況はどうなのでしょう。

2006年エジプトとニジェールがポリオ蔓延国から外され、残る蔓延国はアフガニスタン・インド・ナイジェリア・パキスタンのわずか四ヶ国のみとなりました。2006年にコペンハーゲンで行われた国際ショナル・ポリオプラス委員会においてWHOと米国疾病予防センターの代表者は今後およそ18ヶ月の間に、より効果的な新ワクチンの使用と予防接種強化を以って前向きな見通しを示しました。

「ポリオ撲滅まであと一歩」、しかしながら最後の病例がなくなるまでその一歩は続くでしょう。

文献 「ポリオのない世界へ — 私ができること」

青森県小児科医会 関場慶博著

2006. 11

恒久基金委員会

委員長 朱宮 新治



「恒久基金について」

＜恒久基金の目的＞

ロータリー財団の活力は、いかなる時も積極的に時間を捧げ、資金面における寛大な寄付を行うロータリアンの熱意あふれる支援にあります。この支援がロータリー財団の教育および人道的プログラムを可能にしてきました。恒久基金は、財団の諸プログラムの需要の増加に対応し世界各地における緊急な人道的ニーズを満たす能力を拡充する為に、追加の収入源を提供することによって財団の堅実な将来を確保すべくという目的で、1982年に創設されました。寄付者はこの基金に寄付し財団の将来のために長期的な安定を築きます。

国際ロータリー理事会ならびにロータリー財団管理委員会は、プログラム経費を優先させる活動として次のプログラムを特定しています。

・ポリオプラス・国際親善奨学金・平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター・研究グループ交換（GSE）・マッチンググラント・地区補助金・保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）補助金などです。

＜恒久基金の投資＞

ロータリー財団管理委員会は、財団の投資に関して全般的な指示と監督にあたっており、6つの資産クラスに分けて投資されています。目標とされる資産配分は、米国株式49%、米国外株式18%、公社債13%、不動産10%、未公開株式5%、ヘッジファンド5% となっています。

＜支出可能な恒久基金の収益＞

2004-2005会計年度の恒久基金の収益は、総額450万ドルでした。

2004-2005年度恒久基金収益の配分（単位：米貨1,000ドル）

- ・シェア・システム-2,661 ・WF-\$728 ・国際親善奨学金-\$710 ・3H-\$164
- ・ロータリーセンター-\$140 ・マッチンググラント他-\$112 ・研究グループ交換-\$23
- ・ポリオプラス\$16

＜恒久基金への寄付の認証＞

ロータリー財団に対し、遺言またはその他の遺産計画においてロータリー財団を受益者に指定した事を書面で通知するか、あるいは米貨1,000ドル以上の無条件寄付を恒久基金に行う人は、ベネファクターとして認証されます。また「遺贈友の会」会員は、最低米貨10,000ドルに値する遺贈の誓約をした人々です。大口寄付者は、最低米貨10,000ドルの無条件寄付および生涯年金の寄付に対して与えられます。財団は、恒久基金内に特別な冠名基金を設置することによって、米貨25,000ドル以上の寄付を称えています。

＜ベネファクター会員数＞

世界	2006. 6. 30現在	71,318名	日本	2006. 6. 30現在	18,861名
2760地区	2006. 9. 8 現在	694名			

＜大口寄付者数＞

世界	2006. 6. 30現在	7,458名	日本	2006. 9. 8 現在	703名
2760地区	2006. 9. 8 現在	19名			

ロータリー財団月間によせて

地区補助金委員会

委員長 高山 光雄



1 ロータリー財団の使命

ロータリアンは奉仕と親睦を目的としていますが、ロータリー財団に対する寄付金により我々は様々な奉仕活動をしています。最大の奉仕活動はポリオ・プログラムで、世界保健機構とパートナーとなり、今日までに約500億円を投じて、ほぼ全世界のポリオを撲滅寸前まで活動してきました。この活動は、私たちの寄付金によりRIを通じて行われています。他にも世界平和のため、現在までに3万人を超える元国際親善学生が世界で活躍しています。

2 地区補助金について

2003～2004年度からロータリー財団地区補助金制度が設けられました。年次寄付金（目標は年に1人100ドル）の50%に相当するDDF（地区基金）の20%の金額（今年度は約580万円）が2760地区の補助金として申請することができます。

3 補助金対象プロジェクトの条件

地域振興や経済的に恵まれない人々に奉仕する人道的プロジェクトに補助されます。

今年度決定プロジェクトは次の通りです。各プロジェクトにおかれましては、奮ってプロジェクトに御応募される様お願い致します。

- | | |
|---|--|
| (1) <u>クラブ名：名古屋昭和</u>
<u>事業名：都会の中に森をつくる</u> | (7) <u>クラブ名：江南</u>
<u>事業名：環境ポスター展</u> |
| (2) <u>クラブ名：名古屋北</u>
<u>事業名：養護施設「慈友学園」の生徒、職員との森林自然体験活動を通した一日お父さん</u> | (8) <u>クラブ名：田原</u>
<u>事業名：赤羽根学園児童との心のふれあい地引き網とバーベキューを行う</u> |
| (3) <u>クラブ名：名古屋みなと</u>
<u>事業名：ラオスへの防災活動救急医療支援及び救急救命の訓練指導</u> | (9) <u>クラブ名：名古屋名南</u>
<u>事業名：児童養護施設で「パソコン教室」開催</u> |
| (4) <u>クラブ名：一宮</u>
<u>事業名：3世代介護教室</u> | (10) <u>クラブ名：刈谷</u>
<u>事業名：和太鼓演奏 知的障害者と共に</u> |
| (5) <u>クラブ名：名古屋-名東</u>
<u>事業名：名古屋市名東区小中学校連合音楽会</u> | (11) <u>クラブ名：名古屋大須</u>
<u>事業名：大須史跡めぐりオリエンテーリング</u> |
| (6) <u>クラブ名：半田南</u>
<u>事業名：中学生のハローワーク</u>
中学生を対象に、社会の成り立ちについての理解や職業観・勤労観の育成 | (12) <u>クラブ名：犬山</u>
<u>事業名：里山ビオトープ</u> |

2006. 11

財団年次寄付委員会

委員長 吉川 正敏



11月は、ロータリー財団月間です。今一度、ロータリー財団の意義をご理解いただき年次寄付をお願いいたします。

ロータリー財団には三つの寄付があります。恒久基金、用途指定、そして年次寄付です。その年次寄付とは、一人のロータリアンが毎年100ドルの寄付をするということであります。2004年規定審議会におきまして、EVERY ROTARIAN EVERY YEAR（毎年あなたも100ドルを）を推進するよう決議されました。従いまして、寄付総額を会員数で割ったものではないという点にご留意ください。この年次寄付は3年後のプログラムにその寄付金が使われ、しかもそのうちの50%がDDF（地区補助金）として直接地区で活用できる性格をもった寄付です。

年次寄付委員会活動についてご説明します。背景としてRCの活動は外部から見ると、国際的にも国内的にも財団の活動が8割くらいの印象を占めるといっても過言ではありません。その活動を支える財政的な基盤が年次寄付といえます。あるRC会員が、年次寄付というのは我々の事業活動で言えば固定資産税みたいなものだとおっしゃいました。RC活動を根幹のところ支えているという点からすると、言い得て妙だと納得いたします。

年次寄付の主な用途として、本年度寄付は3年後の年次プログラム基金として使われます。国際財団活動資金として50%、地区財団活動資金として50%が使用出来ます。地区財団活動資金の内容は、地区補助金・国際親善奨学金・GSE・他となっています。

地区補助金は、地域振興や経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために、各地区が地元地域社会および国際レベルで行う人道的プロジェクトに地区財団活動資金(DDF)を使うことを認めるものです。各ロータリークラブからエントリーされた事業に配分します。

年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり両方でお互いに補っています。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。恒久基金への寄付の元金は決して使いません。投資してその収益を財団プログラムの支援に使います。通常100ドルの寄付者はベネファクターとしてバッジと表彰状を受け取ることができます。当地区の目標は毎年各クラブ1名以上のベネファクターを出して頂くことになっていますが、残念ながらまだベネファクターのいないクラブも有ります。

今年度も、年次寄付のパンフレットを作成致しました。ビジュアルでわかりやすいパンフレットですので、ぜひご覧いただき年次寄付をご理解いただき「毎年あなたも100ドル」の寄付をよろしくお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問報告

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
あまロータリークラブ	松永 汎人	山田 謹一	91名

開催日 9月4日(月)

開催場所 名鉄グランドホテル



去る9月4日(月)斎藤ガバナー公式訪問がございました。例年と異なり、当クラブ単独の訪問ということで緊張のなかお迎えいたしました。例会に先立ち10:30より会長幹事懇談会を開催、当クラブの今年度計画書に基づき、ご説明すると共に、日頃考えている問題点等を提起しビッシリお話が出来ました。

ガバナーからは、あまクラブとしての委員会構成の特色(地域社会、保健各委員会)についてのご指摘、また今年度予算書の計上における疑問点、新人会員の研修のあり方(他クラブの実例も含め)、さらに広報活動の活性化など多岐にわたり懇談いたしました。あまクラブからも・海外ロータリークラブとの提携のあり方等について、最後に当面の重要テーマでもあります会員の維持、増強についてアドバイスを頂きました。次に例会場では斎藤ガバナー、藤井地区幹事を会員全員が拍手でお迎え入場頂きました。また当日は、米山奨学生の朴さん、青少年交換留学生の王さんとその留学先の津島高校校長の佐藤さんにも出席頂きました。例会後半では、斎藤ガバナーに卓話をさせて頂きましたが、そのなかで、①運営方針である「クラブ奉仕に徹しよう」の背景、②職業奉仕は入会的前提条件であり③その学習の場が例会であるということが、特に印象に残りました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
安城ロータリークラブ	成瀬 介宣	磯貝 廣治	62名
三河安城ロータリークラブ	堀尾 佳弘	平野 勝則	55名

開催日 9月6日(水)

開催場所 碧海信用金庫本店3階

9月6日斎藤直美ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えし、安城RCとのガバナー公式訪問合同例会を開催しました。例会に先立つての合同会長、幹事懇談会では各クラブの事業計画の発表や活動状況を報告し、ガバナーより適切なご意見ご指導を頂きました。その中で安城RC、三河安城RCが例会の中で行っている雑誌「ロータリーの友」の紹介について、大変お褒めの言葉を頂き、安城RCからの伝統の素晴らしさを再確認しました。

合同例会では先日開催された地区委員長会議(安城RC咨名令了委員長が出席)のメンバーの熱心なお話を頂きました。またRI会長のメッセンジャーとして「率先しよう」の4つの強調事項①水保全、②保健および飢餓 ③識字率向上 ④RC家族についてご説明頂きました。そして4つの強調事項をRCが取り組む時、クラブ奉仕の延長線上で考え動き出して欲しい、これがRCの基本の姿勢であり、クラブ奉仕を原点回帰すれば将来の姿が見えてくる、と熱く語られました。

今回の公式訪問で、ガバナーのロータリーに対する思いを拝聴でき、会員一同感謝いたしております。最後にガバナーから言われましたバストガバナーの森氏の言葉「RCは人生の余白である」余白の埋め方が課題、問題であるということをご後考えながらRC活動をする事が大切なことであると感じました。



斎藤ガバナーには、ご多用の折、合同例会にご来訪頂き、厚くお礼申し上げます。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
江南ロータリークラブ	大塚 祥敬	安藤喜代司	54名
岩倉ロータリークラブ	服部 徹	浅野 勝美	19名

開催日 9月5日(火)

開催場所 ホテルルートイン グランディア 小牧



岩倉RCの例会日に合わせて、親クラブである江南と合同で斎藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎えしました。言動一致の斎藤ガバナーらしく、例会に先だちで行われた会長、幹事懇談会の予定時間30分前には会場において頂き、ネットワークの軽快さに驚かされました。懇談会では斎藤ガバナー、藤井地区幹事、会長、幹事を交えてクラブ計画書に基づいてクラブの現状、事業報告をさせていただきました。斎藤ガバナーはあらゆる点に精通されており、問題点を的確に見抜かれ、丁寧な指導を頂きました。今後のクラブの指針、参考とさせていただきます。例年とは異なり、例会に先立ち、斎藤ガバナーと名刺交換も行われました。多くの会員がガバナーとの名刺交換を希望された為、ガバナーの名刺が不足し数名の会員が名刺交換が出来ないと言う、ハプニングもありました。楽しい雰囲気の中、例会が始まり、RI会長の方針である、「率先しよう」と、地区方針である「原点回帰」をメインに、本年度の強調事項を具体的な事例を挙げながら解りやすく解説していただき、とても有意義な例会となりました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
新城ロータリークラブ	古瀬 弘文	浅岡 勝	55名
奥三河ロータリークラブ	板橋 光男	神藤 好代	21名
豊川ロータリークラブ	岩瀬淳一郎	戸田 俊晴	67名

開催日 平成18年9月8日(金)

開催場所 新城観光ホテル東館

本年度のガバナー公式訪問は、2760地区では異例の三クラブ合同開催となりました。当日は、斎藤ガバナーおよび藤井地区幹事をお迎えしました。ガバナー方針は、きめ細かく訪問し地区の問題点を掘り下げ、適切なアドバイスをする狙いから、当初二クラブまでとのことでしたが諸事情によりお話しを頂き三クラブ合同開催とさせていただきます。

さて、例会前の会長幹事懇談会では、各クラブのクラブ計画書を基に熱心に細部にわたりアドバイスを承り、又他地区クラブの例を引用され大変参考になりました。この一年やると新たなパワーをいただいた気が致します。

また例会では、特に斎藤ガバナーの地区方針「原点回帰」と諸施策についてお話をいただき、会員一同、今一度原点に戻り真のロータリアンとして、心を新たに本年度の事業を遂行する決意を致しました。良い時間を(勉強)をありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
豊橋ゴールデンロータリークラブ	渡辺 久祐	高林 保夫	63名
豊橋東ロータリークラブ	中野 亘	鈴木 昌敏	48名

開催日 9月13日(水)
開催場所 豊橋グランドホテル



本年度のガバナー公式訪問は、豊橋市内5クラブのうち若い2クラブの合同例会で、豊橋東RCがホスト役を務め、斎藤直美ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えして開催されました。

例会に先立ち行われた会長幹事懇談会は、斎藤ガバナーが各クラブの特色をご理解頂いており、大変内容の濃い、有意義な時間となりました。例会中の卓話でも「どのような計画書にも楽しみながら目を通して」とお話されておりましたが、私共のクラブ計画書も事前にしっかりとご覧頂いたようで、細かい点にまでご質問やお褒めの言葉を頂きました。

例会では、RI会長テーマを分かりやすい言葉でお伝え下さり、例会への出席に繋がるクラブ奉仕の大切さを示されました。また、各クラブテーマにご共感を頂いたり、豊橋が関わり深い土地であるというエピソードのご披露もあり、斎藤ガバナーを身近に感じることができました。今回ご教示賜りましたことを今後のクラブ運営に反映させ、より一層のクラブ資質向上に努めて参る所存です。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
常滑ロータリークラブ	谷川 和親	水野 福三	54名
知多ロータリークラブ	平松 典保	近藤 得男	23名

開催日 9月15日(金)
開催場所 あいち知多農業協本部ビル

知多・常滑両クラブ合同で、斎藤ガバナーと藤井地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。

会長幹事懇談会では、両クラブの活動方針と状況について報告した後、適切で分かり易いご指導を頂きました。その中で、地区運営方針の「原点回帰」についてお話をされ、入会5年目までの会員のオリエンテーションや職業宣言の配布等々、ロータリーの原点を再認識することの重要性についてお話しされました。また、会員数の少ないクラブの運営方法についてのご助言も頂き、和やかな雰囲気の中、たいへん有意義な懇談会でありました。

例会では、原点回帰、会員数や出席率の状況、RI会長方針の「率先しよう」等々についてのお話を伺いました。その中で、ロータリーの精神や原理原則を再確認することが、ロータリーを活性化し魅力を高める方法であると、分かり易く説明して頂きました。会員一同、今後の活動に大いに参考にしたいと思えました。



その他、両クラブの奉仕活動に対してのお褒めの言葉を頂きましたが、知多RC平松会長の国際奉仕に対する取り組みに対し、特に褒めの言葉がありました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋大須ロータリークラブ	神田 憲	内藤 明	68名
名古屋栄ロータリークラブ	殿谷 忠俊	牧野 恒久	72名

開催日 9月14日(木)
開催場所 名古屋東急ホテル

本年度のガバナー公式訪問は、名古屋栄RCと名古屋大須RCと合同で、斎藤直美ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えして大須がホストで開催いたしました。

会長幹事懇談会では、会長・副会長・幹事そして岡部快圓バスターガバナーも加わって頂き、両クラブの今年度の事業計画についての講評・ご示唆を受けました。

合同例会ではクラブ奉仕に徹し、例会に出席し会員同士がお互いに話し合い、自己研鑽に励み、周りを見ながら自分達はどのような奉仕活動に取り組むかを考え、いかにそれを実行するかを説かれました。また人それぞれの立場での「ご縁」の大切さも勉強させて頂きました。

両クラブの会員同士の親睦と友情を深める場としても有意義な合同例会でした。



開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
春日井ロータリークラブ	清水 勲	山田 治	64名
豊山一城北ロータリークラブ	奥田 葵	馬場 博通	23名

開催日 9月19日(火)
開催場所 名古屋栄東急イン

この度はガバナー公式訪問をいただき、春日井RCの清水会長、山田幹事をはじめ会員の皆様にご出席していただき、当クラブがホストを勤める合同例会が開催できましたこと、当クラブの会員一人一人が喜びを感じていました。

午前中はガバナーと懇談させていただきました。

当クラブの計画書を元にミーティングを行いました所、ガバナーから細部に渡り質問があり、応答するに赤面度度。

①まず会員増強、退会防止策を具体的にマニュアル化し実行すること。

②現金出納はニコニコと2通の通帳で幹事の捺印3名で管理する事が事故防止になる。

ガバナーはクラブ計画書の内容を理解されており、適切なアドバイスをくださいました。

会の運営に活用させていただく所存です。

ガバナー来会と合同例会が意義あるものと感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問報告

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
碧南ロータリークラブ	杉浦 健次	石川 春久	78名
一色ロータリークラブ	杉田 亘恭	鈴木 茂朗	30名

開催日 9月20日(水)
開催場所 碧南商工会議所



齋藤ガバナーの粋なはからいで、碧南RC・一色RCの組み合わせによる合同例会にて公式訪問をお受け致しました。初めて碧南RCにお越しの一色RCメンバーも多くみえ、お互いに親睦の実を上げることが出来ました。

例会前の齋藤ガバナー、藤井地区幹事のお二人と碧南RC・一色RC会長、幹事による懇談会は少人数の事もあり、両クラブの現状を踏まえた過去・現在・未来についてのあるべき姿に対して高所、細部に亘っての話し合いが行われ、齋藤ガバナーからは多面の経験に基づく識見あるご意見、ご指導を予定時間をオーバーしてまでも頂き大変有り難く感謝申し上げます。

例会に於いてはウィリアム(ビル)・ボイドRI会長の「Lead the way—率先しよう—の本来の解釈についてお解きになり、クラブ奉仕と職業奉仕の理解についてもなぜ「原点回帰」なのかをお話し賜りました。そして最後に「ロータリアンフェイス」の自分になりたいと奉仕の尊さを投げかけて頂きました。

この公式訪問のご示唆を糧に両クラブの発展につなげてまいりますと存じます。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋みなとロータリークラブ	野村 順雄	鈴木 哲	74名
名古屋西南ロータリークラブ	安江 英雄	後藤 徹	48名

開催日 9月22日(金)
開催場所 名古屋マリOTTアソシアホテル

9月22日(金)齋藤直美地区ガバナー、藤井伸三地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問合同例会を開催しました。

この例会に先立ち行われましたクラブ会長・幹事合同懇談会では、両クラブのクラブ運営、活動などに、ご指導ご示唆を頂きました。

クラブ発展の為に一層の努力を心した次第です。

合同例会は名古屋みなと57名、名古屋西南27名合計84名が出席しました。

両クラブの委員会報告に続き、ホストクラブ野村会長の歓迎の挨拶の後、齋藤ガバナーより卓話を頂きました。



R.I.会長方針、地区方針の他、職業奉仕の重要性、例会出席から社会奉仕、国際奉仕へとロータリアンとしての条件としての活動を述べられました。

ガバナーの温厚なお人柄のおかげで和やかな意義ある例会となりました。

最後に名古屋西南の安江会長のお礼の挨拶で終了しました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
東海ロータリークラブ	高村 敦夫	大林香端人	59名
大府ロータリークラブ	小崎 康弘	菅井 利昌	26名

開催日 9月21日(木)
開催場所 大府商工会議所



去る9月21日大府RCがホストとなり、東海RC、大府RC合同で大府商工会議所にて公式訪問が行われました。昨年までは東海、東知多、大府の3つのクラブ合同で行われ、会場の都合もあり毎年東海RCホストで行われてきましたが、今年度は初めて大府RCのホストとなった開催で、準備段階から緊張の公式訪問でした。

例会に先立っての会長幹事懇談会では、齋藤ガバナーの「大府RCは設立4年目の若いクラブだホストクラブなので大府RC中心で話しをしましょう」とお心遣いを頂きました。小崎会長より会長方針の説明、幹事より事業説明後、齋藤ガバナーよりひとつ一つの委員会事業についてご質問があり、予定時間1時間半の内1時間15分を費やされ、緊張で汗びっしょりの会長幹事会でした。齋藤ガバナーが事前に大府RCについて勉強されご来訪されたことがわかり、大変感動し又多くのことを学ばせて頂きました。

例会では、卓話で齋藤ガバナーより、RI方針、地区方針のお話しに続いて「ご縁があって社会奉仕、国際奉仕活動をさせていただく、その原点はクラブ奉仕活動を続けること。職業で成功し、クラブ奉仕で磨き、社会奉仕をすることがロータリー」とのお話があり会員一同大変多くの事を学ばせていただきました。

また会長幹事会でのお話をされ、「大府RCの少ない人数で、WCS、国際奉仕活動、社会奉仕活動など多くの事業をされているが、会員の負担が多くないですか?」との質問に小崎会長が「メンバーが積極的に奉仕活動することが、クラブの活性化につながり、まったく負担ではありません。」との言葉に、「大変カルチャーショックを受けた。大変素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただきました。また、「東海RCも長年の歴史にのっとり、WCS、国際奉仕活動など多くの事業をされていて、素晴らしい。これからも長く続けてください。」とお褒めの言葉をいただきました。

このような有意義な例会をもてましたことを、齋藤ガバナー、藤井地区幹事に感謝申し上げます。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋空港ロータリークラブ	金井 和治	内海 辰巳	55名

開催日 9月25日(月)
開催場所 ホテルキャスルプラザ

9月25日に齋藤ガバナーと藤井地区幹事をお迎えして例会が開催されました。

先に、会長・幹事への指導が10時30分より行われました。ガバナーには「当クラブの現状」「今年度の活動方針」「委員会活動」を報告しました。ガバナーからは、

- ①毎年度会員が微増(1名から2名)しているが原因は。
- ②独自の行事「全国空港フォーラム」を広報にて、一般にロータリーを知らせてほしい。
- ③「友」の記事紹介を例会の中でしてほしい。
- ④ロータリアンの弱いところをロータリー情報委員会で補ってほしい。

等の貴重な指導をいただきました。

例会の卓話に於いては、他地区から

- ①当地区は出席率が何故良いかを聞かれたときの答えは、入会したら出席するは当たり前「出席が原点である」でした。
- ②会長テーマは前年度を意識した延長線上にあると考えるのが妥当ではないか。
- ③ロータリーは「職業奉仕」と言われるが、前提条件として「職業奉仕を理解して入会し例会で学習し、自分の情報を発信・収集する事が「クラブ奉仕」と考えられる。最後に、「ロータリーは人生の余白」人生の余白に何を書くかは、みんなの宿題である。



全般に、示唆に富み、意義ある卓話をいただきました。有難うございました。

ガバナー公式訪問報告

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
蒲郡ロータリークラブ	中村 仁	板倉 四郎	57名
豊川宝飯ロータリークラブ	山本 章吾	金田 柁宏	55名

開催日 9月26日(火)
開催場所 豊川商工会議所会館



9月26日(火)、豊川宝飯RCがホストクラブとなって、蒲郡RCとの合同で、斎藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎えして公式訪問が豊川商工会議所にて行われました。

例会前に、両クラブの会長幹事の懇談会を開催し、ガバナーよりそれぞれのクラブに対してクラブ計画書に基づいた大変詳細かつ的確なご指導を頂きました。また、クラブリーダーシッププランについてご説明を頂き、今後のクラブ運営に役立てて参りたいと思います。

例会では、RI会長の「率先しよう」のテーマについてのご説明、地区運営方針「原点回帰」についてのご説明を頂きました。そしてクラブにおけるクラブ奉仕の重要性についてのお話も頂きました。第2世紀に入ったロータリークラブの今後について方向性をお示し頂きまして、会員一同大変勉強になった公式訪問例会となりました。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
一宮北ロータリークラブ	石黒 三雄	梶浦 正捷	55名
一宮中央ロータリークラブ	後藤 正雄	松岡 正浩	54名

開催日 9月29日(金)
開催場所 一宮商工会議所

9月29日、一宮中央ロータリークラブ、一宮北ロータリークラブ合同で斎藤ガバナー、藤井地区幹事をお迎えして、公式訪問が行われました。

例会前に行われた「会長・幹事会」で、斎藤ガバナーと藤井地区幹事へ両クラブの現状報告をさせていただいた後、斎藤ガバナーより、新しい会員に対するRCへの理解及び会員増強について目標をたて、グループ制や責任制などをつくり、会員が本気になってすることが必要だなどと力強いアドバイスを受け、非常に有意義の内に懇談会を終わることができました。

例会においては、ガバナースピーチとして原点回帰、地区ロータリー情報委員会の設置による地区リーダーシッププランなど、詳細な説明を受けることができ、大変充実した例会となりました。



開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
豊田東ロータリークラブ	柴田 明司	鈴木 敬一	82名
豊田中ロータリークラブ	鈴木 幸雄	山下 一美	51名

開催日 9月27日(水)
開催場所 ホテル豊田キャッスル



ガバナー訪問は豊田東クラブ、豊田中クラブの2クラブにて斎藤ガバナー・藤井地区幹事をお迎えし、懇談会、例会も始終和やかな雰囲気の中ご指導頂き、また楽しい時間をもちまして頂き感謝申し上げます。

ガバナー、地区幹事との懇談会はクラブごとに行い、副会長・エレクト・副幹事も同席し、クラブ運営・クラブ活動について説明し、ご指導をおおぐと共に、今後の運営活動へ大変有意義なご指導を頂戴いたしました。

例会では、RIテーマ「率先しよう」について分かりやすくお話を頂き、4つの強調事項と共に社会奉仕、国際奉仕の一步となる活動への必要性を感じ取らせて頂きました。

ガバナー方針「原点回帰」につきましても、学ぶ事の大切さが、明日に通じるロータリー活動の活力を生み新たな目標に向かい、ロータリーの原点に立ち返り活動して参ります。会員一同大いに勉強させて頂きありがとうございます。

開催クラブ名	会長名	幹事名	会員数
名古屋名東ロータリークラブ	津川 聖子	寛 久俊	60名
名古屋千種ロータリークラブ	山本 眞輔	吉田 玄	59名

開催日 10月3日(火)
開催場所 愛知厚生年金会館

名東RC・千種RC合同例会に斎藤直美ガバナー、藤井仲三地区幹事のご訪問を賜りました。

例会に先立つ会長幹事懇談会では両クラブに45分づつ時間を頂き、クラブの現状、問題点、疑問点などにつき懇篤なご助言を頂きました。ガバナーからは、特に、RC情報委員会が担う役割と、職業奉仕の概念について非常に参考になる示唆を賜りました。

例会では、本年度RIテーマの「率先しよう」、地区運営方針の「原点回帰」、地区年度方針の「クラブ奉仕に徹しよう」「ロータリーを学ぼう」などの意味するところについても、平易にご説明を頂き、クラブ奉仕の重要性を改めて認識致しました。

特に、「職業奉仕の倫理観はロータリアンになるための前提条件」、「例会はあなたが主役」というガバナーの言葉が参加メンバーに印象深く残りました。また、今年度の名東RCテーマ「原点を学び思いやりの心で活力あふれるクラブライフを創造しよう」、千種RCテーマ「共生」についても深くご理解を頂き、講評を頂きました事は、今後のクラブ運営に大きな自信となるものでした。



パストガバナーからのメッセージ

「新しいロータリーの模索」

パストガバナー 盛田 和昭



1905年ポールハリスが仲間4名でスタートしたロータリークラブが100年を経て、世界166ヶ国に120万人以上の会員を擁する巨大組織に成長した秘密はどこにあるのでしょうか。ロータリーをよく御存知のパストガバナーの皆さんには色々御意見があるかもしれませんが、私は次の2つがポイントだと思っております。

第一にはポールハリスが会員を集める時、夫々の職業を代表する企業から選んだことです。そして一業一人を原則としたことです。ロータリアンになる事はその地域の、その職業のトップ企業であるという、高いプレステージを持たせたことが拡大につながったのです。

第二にはRI会長を始めガバナー・クラブ会長等すべて任期は1年で、再任を認めなかった事です。従ってロータリーは毎年新しい指導者によって運営され、任務終了後は一会員に戻り権利も職務も負わせなかったのです。クラブ内にポストも作らないが、特別な負担も負わせない。すべてが平等な会員であるという素晴らしい組織だと思えます。因みに私共パストガバナーが何時迄も少々ながら違った処遇を受けているのはロータリーの精神にはいささかそぐわない。私はパストガバナーはガバナー終了後何年か年度を切るべきだと思います。今の状態が続けば世の中にパストガバナーが氾濫すると思いませんか。話が外れましたので戻しまして、最近ロータリーの2つの素晴らしい原則の内、第一の一業一人が全く無視される様になってしまった。職業分類という考え方は他のグループ団体には無い考え方で、ロータリーの特色を表す重要な規則であったものが、何時の日かRIが極端な拡大政策を取り始め、一業一人を三名迄とか五名迄と解釈を拡大し、最近では遂に職業分類を放棄したと聞きました。正に創始者の精神を、ロータリー創立の基本原則を無視した事になると私は思います。時代と共に諸規則を変更する事は構いませんが、創立の精神は守るべきだと考えます。会社でも同じです。創業者が何故この会社を作ったのか、何の為にこの会社はあるのかを忘れてはなりません。

次に現在、世界中のロータリーが抱える重大問題は会員の減少です。そしてその大きな原因は若い人達が入ってこないことです。彼等は云う。「昼メシを食べる会合なのに出席だけうるさく言われる。そしてメンバーは外の会でも会える人達ばかりで特別の人ではない」と。若い人達にはロータリーは魅力がないのです。

以前はロータリアンである事に誇りを持っていたから、入会時に出席が第一だと云われてそれを忠実に実行して来た結果、約200名を擁する当クラブでも出席率は93%前後、他の団体から見たら正に驚異的な出席率です。それを今の若い人達に押しつけてよいかも大きな問題点です。

我々パストガバナーもロータリーを愛するならば、会員減少を喰い止める事、若者に魅力を感じさせるロータリーにする事を真剣に考える必要があります。それには皆様の御子息、あるいはお孫さん等、若い人達の考え方なり気持を理解しないとイケません。身の周りの若い方を説得出来ない様では会員獲得は出来ません。又、若い人達が出席しやすい夜間例会クラブをもっと作る事も考えなくてはならないでしょう。夜間例会の子クラブをパストガバナー主導で作る事も当然考えの中に入れてたいものです。

会員減少は会社でいえば赤字決算です。何とかこの危機を克服することを提案致しまして終わります。

東尾張分区 I.M 報告

東尾張分区 ガバナー補佐
江崎 柳節
東尾張分区 I.M 実行委員長
舟橋 弘



1) 開催

斎藤直美ガバナーの年度方針の一つに「ロータリーを学ぼう」——IM を成功させよう——があります。

その方針に従って東尾張分区では、江崎ガバナー補佐の主催による IM を 9 月 30 日(土)名鉄犬山ホテルにおいて開催した。

当日は天高く秋晴れの好天で、爽やかな IM 日和となつて、天気も味方をしているかのようであった。

4 年ぶりの開催となったのであるが、東尾張分区では各クラブが全員登録をもって応えていただき、IM 開催の熱意と団結心を実感した。これも、各々ロータリアンが IM に期待している表れと主催者として大変有難く思い誌上を借りて感謝申し上げます。

2) 式典及び講演

斎藤ガバナーあいさつに立ち「他分区に先駆けて IM を復活させられたことを喜ばしく思う。分科会でも大変重要なテーマが 3 題提唱されている。この大会が意義深いものとなることを期待している。」と述べられた。招請講演では RI2830 地区バストガバナー RI 研修リーダー関場慶博様(弘前 RC)を講師に迎え「ロータリーこの素晴らしき世界」と題してご自身の体験談を交えて講演をしていただいた。

先生は、小児科医として西アフリカ、ガーナ共和国へ政府派遣医師として赴任された。現地では日本と違って、水道・電気・居住設備・食料・医療設備等の衛生面、環境面が想像を絶する劣悪であつて、そのために子どもの死亡率が極めて高いとの指摘があつた。

またインターアクトクラブの学生をネパールに連れて行き、そこでその学生が現地での言葉も通じない中で必死に教えた折り紙を子ども達が覚え、折鶴を作ったときには泣いて子供たちを抱きしめていた。この学生は不登校で悩んでいたのであるが「貧しい国の子供たちの教育に一生を捧げるといふ目標が出来た」と語っていた。そのため国連で働くために勉強中とのことであつた。

一方、インドでのポリオワクチン投与に参加したあるロータリアンの例を話された。このメンバーはこのワクチン投与によって赤ちゃんが命を落とさずに済んだのなら、この子の未来は私が与えたことになる。将来、この子が成長したときに私が汚い方法で金儲けをしたり、犯罪者であつたらどうかと思つた。その後、ロータリーの職業奉仕を強く意識して活動するようになった。

以上 2 例からロータリー活動は一つの行動から次へ、すなわち、社会奉仕から職業

奉仕へとといった具合に、奉仕活動は一つに留まらず、円環となつて連なっていくものであると述べられた。

私達は、このすばらしい講演によって勇気と励ましを受け、真に深い感銘を受けた。

3) 分科会

分科会は、第 1 は「矜持すべきロータリアンの資質とは」第 2 は「最も奉仕する者最もよく報われるか」第 3 は、「クラブを超えた新世代の育成」で、原点帰帰を意識した基本テーマである。分科会では分区内の 11 クラブそれぞれ 1 名づつが 3～4 分の持ち時間で順々に意見発表した。

第 1 分科会では、早稲田精一 瀬戸 RC 会長がリーダーとなつて 10 名が意見発表をした。意見発表の主なものは次のようであつた。

「田舎のおじさんの仲良しクラブの昼食会であるがここから偉大な活動が生まれ、積み重ねられて、ロータリーの歴史が続く」

「奉仕を志す者の異業種の集まりであるロータリアンが、意見交換をし、切磋琢磨し、人生の生涯学習の場である。」

第 2 分科会では、日比野良太郎 犬山 RC 会長がリーダーを勤めた。そこでの意見の主なものは、「社員の子供を職場に招き、社員が父親の顔になって職場案内した時に、その日の夜、息子が「お父さんはスゴイ」といつてくれたことがうれしく、自身の仕事に誇りを感じられるようになったと社員が報告してくれたときは、経営者として大変うれしく思つた。」

「ハナエ・モリは戦後の物のないとき、夜業してミシンを踏んで洋服を作つた。この洋服が大変に評判がよく、とてもよく似合っているとの評価を得た。皆がこんなに喜んでいただけるなら、もっとお役に立とうと思ひ洋服作りに精をだした。周りを良くしようとして、自分も成長して言った。」

第 3 分科会では、清水勲春日井 RC 会長がリーダーを勤めた。ここでは新世代委員会関係者 11 人が意見発表した。「最近の荒れ果てた新世代を目の当たりにしているこの時こそ、新世代事業を後退させてはいけない」

「ロータリアンが様々な活動を通して、次世代のリーダーの育成となる。」以上 3 分科会では、多くの貴重な意見発表がありましたが、その一部を書きまとめました。

結 び

IM は、クラブを超えて研修と親睦を深める大会であるが、4 年ぶりに開催されたことであろうが、大変有意義な一日だった。ロータリーは、親睦から奉仕へと行われているが、奉仕へと至る裏付けとなるべき教育面の充実が果たされた IM であつたと思われる。



●ガバナーホームページにて講演内容(音声データ)を掲載する予定です。

2006～2007年度 国際ロータリー第2760地区

地区大会のご案内

原点回帰

～その精神を受け継ぎながら～

第1日目／2006年11月18日(土)

第2日目／2006年11月19日(日)

場所 ウェスティンナゴヤキャッスル

<http://www.nagoyanaka-rc.org/chiku/>



ホストクラブ／名古屋中ロータリークラブ

第1日目 11月18日(土)

- 11:00 地区諮問委員会
- 12:00 R.I. 会長代理を囲む昼食会 (シャンホール)
- 13:00 本会議登録受付
- 13:30 本会議第1部開会 (青雲の間)
コールロータリー名古屋 合唱
(『愛・地球博』の為にロータリアン及び
その家族により構成された合唱団)
- 14:00 点鐘
国歌・ロータリーソング
開会のことば
R.I. 会長代理ご夫妻紹介
特別出席者・出席クラブ紹介
主催者挨拶
R.I. 会長代理挨拶
- 15:00 各委員会報告
- 15:20 休憩
- 15:45 ロータリーミーティング (青雲の間)
講師: 佐古 亮尊氏 (大村北RC)
Sako Ryoson
本経寺住職
第2740地区 95～96年度 ガバナー
- 17:15 閉会・点鐘

R.I. 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 (天守北の間)

- 17:30 受付開始
- 18:00 開会
挨拶
- 18:15 乾杯
会食・歓談
アトラクション
アビゲイル・ヤング&ラウラ・ミッコラ
デュオコンサート
- 20:20 終了

地区指導者育成セミナー (天守北の間)
11.18 (土) 9:30～11:00

第2日目 11月19日(日)

- 9:00 本会議登録受付
- 9:30 本会議第2部開会 (天守の間)
岡崎高校コーラス部 合唱
(世界合唱オリンピック優勝(金メダル)二連覇)
- 10:00 点鐘
国歌・ロータリーソング
物故会員黙祷
開会のことば
R.I. 会長代理・来賓・特別出席者紹介
出席クラブ紹介
ロータリー財団／青少年交換／米山奨学生
インターアクト／ローターアクト紹介
- 10:45 ガバナー挨拶
- 10:50 R.I. 会長メッセージ並びに近況報告
- 11:15 記念事業発表・目録贈呈
来賓祝辞
- 11:25 感謝状贈呈・表彰
- 12:00

昼食

友愛の広場
R.I. 会長代理主催顕彰昼食会 (クラウン)

- 13:00 本会議2日目午後の部開会 (天守の間)
ラウラ・ミッコラ ピアノリサイタル
- 13:45 次年度ガバナーエレクト／ノミネーの紹介・挨拶
次年度地区大会ホストクラブの紹介・挨拶
- 13:55 感謝状・記念品贈呈
- 14:20

記念講演 (天守の間)

講師: 奥田 碩氏 日本経団連 名誉会長
トヨタ自動車 取締役相談役

- 15:50 閉会・点鐘

ファミリープログラム(40名)
11.19 (日) 11:30～15:30
お茶と日本料理「日本料理 加瀬」

地区大会事務局

〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル内 名古屋中RC
TEL.052-219-4020 FAX.052-219-4023 E-mail:rc-chikutaikai06@t2-net.jp
HPアドレス <http://www.nagoyanaka-rc.org/chiku/>

2007-2008年度 地区幹事・会計長・監事・副幹事・スタッフ決定

ガバナーエレクト



江崎 柳節

医療法人 柳雪会 江崎外科内科
理事長
ベネファクター
ポールハリスフェロー
米山功労者
国際奉仕ガバナー特別賞(2002年)

- 1982年 2月 小牧ロータリークラブ入会
- 1983～1984年度 国際奉仕委員長
- 1989～1990年度 職業奉仕委員長
- 1998～1999年度 幹事
- 2001～2002年度 会長エレクト
- 2002～2003年度 会長
- 2003～2004年度 地区クラブ奉仕副委員長
- 2004～2006年度 地区クラブ奉仕委員長
- 2005～2006年度 ガバナーノミニ
- 2006～2007年度 ガバナーエレクト

東尾張分区ガバナー補佐

小規模のクラブですが精鋭総力を挙げて2760地区81クラブの
ために頑張ります。

次期地区幹事



河村 嘉男

丸菱工業(株)
代表取締役
ポールハリスフェロー
米山功労者

- 1970年 3月 小牧ロータリークラブ入会
- 1974～1975年度 青少年奉仕委員長
- 1976～1977年度 幹事
- 1982～1983年度 会長エレクト
- 1983～1984年度 会長
- 2002～2003年度 創立35周年実行委員長

地区の発展のためにガバナーエレクト事務所のスタッフ共々
頑張ります！

次期地区会計長



舟橋 弘

舟橋弘公認会計士事務所
所長
ポールハリスフェロー
準米山功労者

- 1980年 2月 小牧ロータリークラブ入会
- 1990～1991年度 幹事
- 1993～1994年度 会長エレクト
- 1994～1995年度 会長
- 2005～2006年度 クラブ奉仕委員長
- 2006～2007年度 地区ロータリー情報委員
東尾張分区 IM 実行委員長

皆様からお預かりした浄財を地区の活動状況と共に
明確に報告できるよう努めます。

次期地区監事



長谷川 弘

長谷川弘法律事務所
所長
ポールハリスフェロー
米山功労者

- 1972年10月 小牧ロータリークラブ入会
- 1985～1986年度 会長エレクト
- 1986～1987年度 会長
- 1987～1988年度 ロータリー情報委員長
- 1988～1989年度 ローターアクト委員長
- 1997～1998年度 SAA

RCの温かい友情に支えられながらベースキャン
プを守ります。

次期地区副幹事



濱口 栄男

(有)ティール・ピー・エッチ
代表取締役
財団の友
米山功労者

- 1998年 7月 小牧ロータリークラブ入会
- 2002～2003年度 雑誌委員長
- 2003～2004年度 米山奨学委員長
- 2004～2005年度 ロータリー財団委員長
- 2005～2006年度 副会長
- 2006～2007年度 規定委員長

自己研鑽にはげむと共に RCの発展に微力ながら
努力します。

次期地区副幹事



五藤 隆夫

合掌レストラン大蔵
代表者
ポールハリスフェロー
米山功労者

- 1991年 4月 小牧ロータリークラブ入会
- 1997～1998年度 社会奉仕委員長
- 2000～2001年度 新世代委員長
- 2001～2002年度 会計
- 2005～2006年度 幹事
- 2006～2007年度 東尾張分区ガバナー補佐幹事

「魅力あるロータリー」を目標に微力ながら努力
致したい。

次期地区副幹事



長谷川憲治

北斗中央税理士法人
ベネファクター
ポールハリスフェロー
マルチプルポールハリスフェロー
米山功労者

- 1980年 2月 小牧ロータリークラブ入会
- 1990～1991年度 会計
- 1997～1998年度 幹事
- 2000～2001年度 会長エレクト
- 2001～2002年度 会長
- 2004～2005年度 クラブ奉仕委員長

東尾張分区担当で、インターネット委員会と広報
委員会を担当します。宜しくお願い致します。

次期地区副幹事



船橋 茂行

名東電産(株)
代表取締役
ポールハリスフェロー
準米山功労者

- 1981年 1月 小牧ロータリークラブ入会
- 1984～1985年度 社会奉仕委員長
- 1988～1989年度 国際奉仕委員長
- 1990～1991年度 SAA
- 1994～1995年度 幹事
- 1998～1999年度 会長

地区協議会、地区大会のホストクラブ担当者様の
窓口を担当します。

次期地区副幹事



塚原 秀典

(株)ダスキン塚原
代表取締役
ポールハリスフェロー
米山功労者

1981年1月 小牧ロータリークラブ入会
1986～1987年度 青少年奉仕委員長
1989～1990年度 ローターアクト委員長
1995～1996年度 幹事
2000～2001年度 会長
2006～2007年度 クラブ奉仕委員長
東尾張分区 IM 実行副委員長

“プラスの人生” 感謝され、感謝出来る自分になる年でありたい。

次期地区副幹事



落合 鏖一

(有)落合新聞店
代表取締役
ポールハリスフェロー
米山功労者

1984年3月 小牧ロータリークラブ入会
1991～1992年度 S A A
1996～1997年度 親睦活動委員長
1999～2000年度 幹事
2004～2005年度 会長
2005～2006年度 ローター情報委員長

江崎ガバナーの地区方針のもと、神野ガバナー補佐共々、東三河13RC と共に勉強し行動します。

次期地区副幹事



堀井 武

堀井歯科医院
院長
ベネファクター
ポールハリスフェロー
準米山功労者

1984年9月 小牧ロータリークラブ入会
1991～1992年度 国際奉仕委員長
1996～1997年度 青少年奉仕委員長
2000～2001年度 幹事
2003～2004年度 地区インターアクト委員長
2006～2007年度 会長

以前地区インターアクト委員長を行った経験を活かして頑張りたく思います。

次期地区副幹事



松尾憲二郎

トーヨーテクノ(株)
代表取締役
ポールハリスフェロー
準米山功労者

1991年8月 小牧ロータリークラブ入会
1994～1995年度 ローター財団委員長
1995～1996年度 雑誌委員長
1996～1997年度 環境保全委員長
2000～2001年度 職業奉仕委員長
2006～2007年度 幹事

西三河分区9 RC とロータリー財団委員会を担当いたします。勉強します。ご協力を!!

次期地区スタッフ



菊地 鐵明

(株)トーエイ
代表取締役会長
ポールハリスフェロー
米山功労者

1983年5月 小牧ロータリークラブ入会
1986～1987年度 親睦活動委員長
1994～1995年度 社会奉仕委員長
1996～1997年度 幹事
2002～2003年度 新世代委員長
2005～2006年度 会長

地区の発展のためにガバナーエレクト事務所のスタッフ共々頑張ります。

次期地区スタッフ



増井 洋生

(有)増井工業
代表取締役
財団の友
準米山功労者

1998年12月 小牧ロータリークラブ入会
2001～2002年度 ローターアクト委員長
2002～2003年度 国際奉仕委員長
2004～2005年度 会計
2005～2006年度 新世代委員長
2003～2007年度 地区ライラ委員

ガバナーエレクト事務所でロータリーを勉強しています。

次期地区スタッフ



大島 賀樹

(株)ビー・アイ・シー
代表取締役
ポールハリスフェロー
米山功労者

1991年6月 小牧ロータリークラブ入会
1999～2000年度 ローターアクト委員長
2000～2001年度 社会奉仕委員長
2003～2004年度 新世代委員長
2004～2006年度 地区インターアクト委員
2006～2007年度 職業奉仕委員長

スタッフとしてガバナーを盛り上げ、事務局運営を手伝います。

次期地区スタッフ



犬束 敏彦

(株)進和ライフサービス
代表取締役
財団の友
米山功労者

1997年12月 小牧ロータリークラブ入会
2002～2003年度 親睦活動委員長
2003～2004年度 会場委員長
2004～2005年度 環境保全委員長
2005～2006年度 出席委員長

地区事業運営が流麗・迅速な運びとなりうる様、精進いたします。

次期地区スタッフ



鈴木 文勝

(株)美鈴工業
代表取締役
ポールハリスフェロー
準米山功労者

1998年4月 小牧ロータリークラブ入会
2001～2002年度 環境保全委員長
2004～2005年度 新世代委員長
2005～2006年度 国際奉仕委員長
2006～2007年度 東尾張分区ガバナー補佐幹事

貴重な経験をさせていただきます。宜しくお願いします。

次期地区スタッフ



小栗 正安

オグリ建築デザイン(有)
代表取締役
準米山功労者

2001年11月 小牧ロータリークラブ入会
2005～2006年度 会場委員長
2006～2007年度 新世代委員長

全ての会員の方々に、優しい思いやりの心で接していきます。

次期地区スタッフ



名和 千博

加藤工業(株)
代表取締役
準米山功労者

2003年1月 小牧ロータリークラブ入会
2006～2007年度 親睦活動副委員長

スタッフとして役割に徹したいと思います。

ガバナー
からの報告

「第1回地区環境保全委員長会議報告」

地区環境保全委員長 長瀬 諭

日時・場所：2006年9月28日(木) 名古屋クレストンホテル

当委員会は、講演会と見学会の年2回の委員長会議開催を計画し、9月28日(木)に1回目の委員長会議を開催いたしました。1回目は環境教育をテーマに、黄砂研究において世界的に活躍されている金沢大学教授で、理学博士の岩坂泰信氏を講師に迎え「環境は複雑・深淵・巧妙……。たかが黄砂されど黄砂」という演題で講演会を開催。ガバナーご臨席の下、80名弱のロータリーアンが現在抱えている環境問題について耳を傾けた。

講師 岩坂泰信氏の講演内容は次のとおりである。

1) 講演主題

- ・黄砂に対する関心の高まりとその歴史
- ・地球環境変動と黄砂、黄砂の気候、環境影響
- ・観測の様子
- ・黄砂問題の国際対応（日本、中国、韓国、モンゴル4カ国の協力体制）

2) 講演概要

- ① 黄砂現象とはゴビ砂漠、タクラマカン砂漠等の砂漠地帯から強風により大気に舞い上がった黄砂粒子が浮遊しつつ降下する現象を言う。研究の初期段階では戦後復興に伴う活発なダム建設と人工雨のための黄砂研究であったが現在は黄砂による環境問題が主題である
- ② 黄砂にはタクラマカン砂漠から吹き出す黄砂とゴビ砂漠から吹き出す黄砂の大きく分けて二つの種類がある。タクラマカン砂漠から吹き出す黄砂は高く舞い上がり、太平洋を渡り北米やグリーンランドまで飛来する。日本に飛来する黄砂は主にゴビ砂漠より吹き出し、比較的低い上空を風で運ばれてきたものである。
- ③ 黄砂は発生地では純粋の黄砂粒子であるが、風で運ばれてくる間に汚染される為、日本上空の黄砂は硫黄分が非常に多い。つまり、亜硫酸ガスで汚染された黄砂である。これは途中、中国大陸沿岸の工場地帯を通って来る為と考えられ今後その汚染度が益々問題となってくる。現に、韓国ではこの為に気管支喘息の発病度が非常に高くなったと警告を発している。しかし、一面では黄砂が太平洋に大量に降り注ぎ、プランクトンを繁殖させ、結果として魚が増える。又、海の炭酸ガスが多く吸収され浄化に寄与しているというプラス面もある。
- ④ いずれにしろ、黄砂は日本一国で解決できる問題ではない。関係する国々が共通の認識を持ち、共同で対策を立て相互に支援しあうことが求められる。その為に日本、中国、韓国、モンゴル4カ国の政府間で協力体制が構築され、環境・気象など多方面に亘っての共同研究が強化されている。

以上、環境問題は大変難しいものであり日本だけで解決できるものではない。今後、ロータリーも社会奉仕や国際奉仕などの諸委員会とも連携を深めて活動していかなければいけないのではないだろうか。

次回、第2回目は2007年5月24日(木)に開催予定で、環境問題を実際に体感していただけるよう見学会を予定しております。



ガバナーからの お知らせ・報告

ガバナーエレクト事務所 開設のお知らせ

国際ロータリー第2760地区
2006～2007年度ガバナーエレクト
江崎 柳節 (小牧ロータリークラブ)

記

事務所 〒485-0041 小牧市小牧5-253
小牧商工会議所会館5階
TEL 0568-74-6111 FAX 0568-74-6112
E-mail governor07-08@rotary2760.org
執務時間 10:00～17:00

土曜・日曜・祝祭日は休ませていただきます。
休務中のご連絡はFAXまたはEメールでお願い致します。

2008-09年度RI会長 ノミネー候補に李東建氏



韓国・ソウル漢江ロータリークラブ(RC)会員の李東建(Dong Kurn Lee)氏が、国際ロータリー(RI)会長指名委員会にて、2008-09年度RI会長ノミネーに選出されました。氏は、対抗候補者が出ない限り、12月1日をもって、正式にRI会長ノミネーに指名されます。

李氏は、1971年にRC入会。ガバナー、RI理事(2001-03)、RI財務長(2002-03)、ロータリー財団管理委員(2003-04から)などを歴任しています。

李氏はソウルの製造会社、Bubang Co. Ltd.およびBubang Techron Ltd.の会長であり、ソウル銀行の元理事です。また2005年に、韓国政府から国際親善大使に任命されました。

表彰のお知らせ

第2760地区ロータリー50年以上在籍者の表彰式が地区大会にて行われます。

- 田中铁三郎(一宮RC) 1949年11月7日入会
- 盛田 和昭(名古屋RC) 1955年2月5日入会
- 三輪 隆康(名古屋RC) 1955年8月1日入会
- 白木 信平(名古屋西RC) 1953年12月10日入会
- 森 泰樹(豊橋RC) 1950年8月10日入会
- 花田 利雄(豊橋RC) 1952年12月25日入会

※2006年11月18日の時点で50年以上在籍者

ロータリーの友 表紙 入選作品のご案内 その2

「ロータリーの友」8月号より、表紙写真に会員の作品が掲載されております。総数249点の応募がありました。当2760地区より3名の方が入選されましたので、作品を順次ご紹介致します。

ロータリーの友
11月号表紙

岡崎南ロータリークラブ
大須賀 予偲子さん



2007年国際ロータリー 第98回年次大会のご案内

米国ユタ州ソルトレークシティ
2007年6月17～20日

◎詳細が決まり次第、改めてご案内致します。



犬山RC記念式典のお知らせ

2006年11月3日(金)

名鉄犬山ホテル[彩雲の間・2F]

犬山市大字犬山字北古券107 TEL/0568-61-2211

受付 10:00～10:30 記念式典10:30～12:00
祝宴 12:15～14:15

ホームページアドレス 変更のお知らせ

津島ロータリークラブのホームページアドレスが変更になりました。

<http://www5.ocn.ne.jp/~tsrotary/>

会員数及び出席報告 (平成18年9月分)

	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	9月出席率
		2006年7月1日	7月1日女性	2006年9月末日		9月	累計	9月	累計		
		7月1日	女性	9月末日		9月	累計	9月	累計		
南尾張分区	半田	60	3	61	3	0	2	0	1	4	100%
	常滑	54	0	54	0	0	0	0	0	4	95%
	東海	57	2	59	2	0	2	0	0	4	96.61%
	東知多	24	1	24	1	0	0	0	0	4	77.17%
	半田南	49	1	49	1	0	1	0	1	4	95%
	知多	23	0	23	0	0	0	0	0	3	92.75%
	大府	25	1	26	1	0	1	0	0	4	86.75%
	7 RC	292	8	296	8	0	6	0	2		91.90%
西尾張分区	一宮	78	0	81	0	2	4	1	1	4	98.05%
	津島	75	3	77	3	1	2	0	0	4	92.62%
	尾西	31	0	31	1	0	1	0	1	3	93.54%
	一宮北	55	0	54	0	0	0	1	1	5	94.07%
	稲沢	60	0	61	0	0	1	0	0	4	85.20%
	あま	88	0	91	0	0	3	0	0	3	98.03%
	名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	0	4	82.67%
	尾張中央	46	0	46	0	0	1	0	1	4	92.90%
	一宮中央	53	4	54	4	0	1	0	0	4	89.47%
	9 RC	525	8	534	9	3	13	2	4		91.84%
東尾張分区	瀬戸	73	3	78	3	1	5	0	0	4	100%
	犬山	82	0	81	0	0	0	0	1	4	100%
	江南	52	1	54	1	0	2	0	0	4	96.14%
	小牧	51	3	52	3	0	0	0	0	4	90%
	春日井	62	2	64	2	0	2	0	0	5	100%
	尾張旭	30	0	30	0	0	0	0	0	5	100%
	名古屋空港	56	1	56	2	1	1	0	1	3	99.28%
	瀬戸北	70	4	70	4	0	0	0	0	4	100%
	岩倉	19	0	19	0	0	0	0	0	4	100%
	豊山・城北	20	1	23	2	0	3	0	0	4	87.50%
	愛知長久手	22	2	24	2	0	2	0	0	4	84.38%
11 RC	537	17	551	19	2	15	0	2		96.12%	
西名古屋分区	名古屋	178	0	190	0	2	12	0	0	4	93.45%
	名古屋西	102	0	104	0	0	4	1	2	4	86.90%
	名古屋南	114	0	116	0	0	4	0	2	4	96.23%
	名古屋みなと	72	0	74	0	0	2	0	0	5	97.05%
	名古屋東南	72	6	72	6	0	0	0	0	4	94.64%
	名古屋中	137	0	140	0	1	3	0	0	3	100%
	名古屋瑞穂	72	0	73	0	1	1	0	0	4	93%
	名古屋大須	68	3	69	3	1	1	0	0	4	93.00%
	名古屋栄	71	0	72	0	0	1	0	0	3	93.72%
	名古屋名南	78	12	79	12	0	1	0	0	4	97.11%
	名古屋名駅	93	4	95	4	0	4	0	2	4	96.94%
	名古屋西南	48	6	48	6	0	1	0	1	4	95%
	12 RC	1,105	31	1,132	31	5	34	1	7		94.87%

クラブ	平均
平均出席率	81
	94.47%

	クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	9月出席率
		2006年7月1日	7月1日女性	2006年9月末日		9月	累計	9月	累計		
		7月1日	女性	9月末日		9月	累計	9月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	94	0	96	0	1	4	1	2	5	98.98%
	名古屋東	91	0	91	0	0	0	0	0	3	92.89%
	名古屋守山	65	7	65	7	1	1	1	1	4	88.89%
	名古屋和合	96	0	99	0	1	3	0	0	4	90.68%
	名古屋名東	57	6	60	7	0	3	0	0	4	100%
	名古屋名北	46	7	46	7	0	0	0	0	4	97.58%
	名古屋千種	58	6	59	6	0	2	0	1	4	95.98%
	名古屋昭和	59	0	60	0	0	1	0	0	3	98.84%
	名古屋錦	34	6	35	6	1	1	0	0	4	82.89%
	名古屋東山	57	2	57	2	0	0	0	0	4	63.60%
	名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	0	4	80.43%
	11 RC	681	34	692	35	4	15	2	4		90.07%
	東三河分区	豊橋	118	4	119	4	0	1	0	0	4
蒲郡		58	0	58	0	1	2	0	2	5	89.90%
豊橋北		91	2	95	2	2	4	0	0	4	98.15%
豊川		68	0	68	0	0	0	0	0	4	93.52%
田原		56	1	56	1	0	0	0	0	5	92.45%
豊橋南		64	0	64	0	0	1	0	1	3	99.30%
新城		55	0	54	0	0	0	1	1	5	93.38%
渥美		35	0	39	0	0	4	0	0	4	90.72%
奥三河		20	3	20	3	0	0	0	0	4	93.40%
豊川宝飯		54	0	55	0	0	1	0	0	3	91.60%
豊橋ゴールデン		63	0	63	0	1	2	0	2	4	95.54%
田原パシフィック		68	0	68	0	0	0	0	0	4	91.54%
豊橋東		48	0	48	0	0	0	0	0	4	100%
13 RC	798	10	807	10	4	15	1	6		94.04%	
西三河中分区	岡崎	95	1	98	1	0	3	0	0	4	99%
	豊田	80	0	80	0	0	2	0	2	4	100%
	岡崎南	95	2	96	2	0	1	0	0	4	98.42%
	豊田西	101	0	101	0	0	1	0	1	3	99.65%
	岡崎東	65	0	63	0	0	0	0	2	4	93.63%
	豊田東	81	0	82	0	0	1	0	0	4	96.27%
	岡崎城南	74	0	75	0	0	1	0	0	4	98%
	豊田三好	21	2	21	2	0	0	0	0	3	100%
	豊田中	47	5	51	5	1	4	0	0	4	100%
9 RC	659	10	667	10	1	13	0	5		98.32%	
西三河分区	刈谷	89	2	96	4	2	7	0	0	3	100%
	安城	62	1	62	1	0	0	0	0	4	98.86%
	西尾	74	1	74	1	0	0	0	0	4	100%
	碧南	75	0	78	0	0	4	0	1	4	97.27%
	一色	30	0	30	0	0	0	0	0	4	99.17%
	高浜	41	2	41	2	0	0	0	0	3	100%
	知立	66	0	66	0	0	0	0	0	4	99.56%
	西尾 KIRARA	62	0	63	0	0	1	0	0	5	99.31%
	三河安城	53	5	55	5	0	2	0	0	4	93.37%
9 RC	552	11	565	13	2	14	0	1		98.62%	

地区内クラブ数 81RC	2006年7月1日会員数	5,149名	内女性 129	増加会員数(累計)	125名
	当月会員数	5,244名	内女性 135	減少会員数(累計)	31名
	当月平均出席率	94.47%		差引純増会員数(累計)	94名



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**

今月の表紙



「錦秋」

小原和紙工芸
日展会員 山内一生作

朝夕の空気が冷めたく感じはじめると、秋色が山里におりて来る。自然の織り成す技は絶妙で制作意欲が湧く。

木々のリズムカルな配色を楽しみ、特に錦の輝きに注意を払っている点からも、作者の心象が感じられる精妙な作品である。